

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果

羽島市立堀津小学校

◆全国学力・学習状況調査とは

文部科学省が毎年4月に、全国の6年生と中学3年生を対象に実施している学力調査のことです。国語と算数（今年度は理科も含めて3教科）における学習状況を把握し、授業改善に生かすことを目的としています。

このたび、今年度の調査結果がまとまりましたので、堀津小学校の傾向についてお知らせします。今回の学力調査から、本校の6年生児童は概ね基礎的な学力は身に付いていることが明らかとなりました。しかし、課題となる内容もありましたので、改善点等も含めてお知らせいたします。また、生活習慣や学習環境に関する意識調査の結果もまとめましたので、これからの生活にお役立てください。

◆学力に関する調査の結果から

1 国語

【身に付いている内容】

- ・全体的に、「話すこと」「聞くこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」についての知識・技能は身に付いています。
- ・「話すこと」「聞くこと」に関しては、必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができています。
- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、話し言葉と書き言葉の違い、言葉の働きについての理解ができています。また、漢字を文の中で正しく使ったり、文字の大きさや配列に注意して書いたりすることができています。

【課題のある内容】

- ・「書くこと」に関しては、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることや文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけてまとめることが課題です。
- 国語の授業では、決められた文字数で書く力、条件を満たして書く力、キーワードを使って書く力を身に付けることができるよう指導していきます。

2 算数

【身に付いている内容】

- ・全体的に「数と計算」「データの活用」についての知識・技能は身に付いています。
- ・問題文を理解して立式し、正しく計算する力が身に付いています。いろいろなグラフの特徴を捉えたり、目的に応じてグラフを選択し、必要な情報を読み取ったりする力が身に付いています。

【課題のある内容】

- ・「図形」に関することでは、多角形の正しい書き方、「変化と関係」に関することでは、比例や割合の意味や比例の関係を使った計算や割合の求め方を身に付けることが課題です。
- 算数の授業では、コンパスや分度器、三角定規を使って正しく作図ができるよう指導していきます。また、問題の解答をどのように導き出したのかを図や表を使って説明したり、文章で書き表したりできるようにしていきます。
- また、朝の学習の時間や家庭学習で、繰り返し計算練習やタブレットのアプリを使用した学習を行っています。

3 理科

【身に付いている内容】

- ・正しい観察の仕方や実験器具の名称や使い方など、昆虫の体のつくりや育ち方、食べ物などについての知識は身に付いています。

【課題のある内容】

- ・太陽の光の性質や太陽とかけとの関係、風の働き、磁石の性質などの理解について課題があります。
- 理科の授業では、太陽の光の性質や太陽とかけとの関係、風の働きや、磁石の性質について、実験や観察などの体験学習を通して、正しい知識が身に付くように具体物を使ったり、丁寧に検証しまとめたりしながら指導をしていきます。
- 1, 2年生の生活科の学習でも、生き物や植物との触れ合いを大切にしながら3年生以降の理科の学習につなげていけるようにします。

◆生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の結果から

【全国の数値を上回った設問例】

○自分にかかわること

- ・携帯等について家の人との約束を守っている。
- ・自分にはよいところがある。
- ・決めたことはやり遂げるようにしている。
- ・難しいことでも恐れず挑戦している。
- ・人が困っているときに進んで助けている。
- ・いじめはどんな理由があってもいけない。
- ・人の役に立つ人間になりたい。

○学校生活・学習にかかわること

- ・学校に行くのは楽しい。
- ・友達と協力するのは楽しい。
- ・家で計画を立てて勉強している。

【今後に向けて】

自分のよさを認め、努力できる児童が多いです。また、小規模校で他学年と関わる機会が多くあり、優しい気持ちをもって仲間に接している児童も多いです。今後も志授業やふるさと学習などで様々な人と関わり、将来の希望や夢をもてるよう指導していきます。

学校だけでなく、家庭でも前向きに学習に取り組もうとする児童が多いです。毎日2時間以上の家庭学習や読書、新聞を読むことに取り組む児童もいます。一人1台タブレット配付により、児童にとって、タブレットは学習道具の一つになっています。学習に利用するための活用の仕方や自分で使い方をコントロールできる指導をしていながら、家庭学習でもうまく活用できるよう見届けていきます。また、自主学習等を取り入れながら、自分で考えて学習に取り組める力を高めていきます。引き続き、ご家庭でも基本的な生活習慣を大切にしながら、お子さんの頑張りを認め、励ましていただきますようお願いいたします。